

## 清水友紀 議員

### 「子ども達に何を残すか」

～堅実な積み立て、農業や環境、弱者に優しい交通便利な町を未来へ～

膨大な予算書から描かれる町の将来図を、主に以下の4つの視点から厳しくチェック。

#### 1. 貯金と使い道のバランス

将来への備え 「財政調整基金」を2億円と大きく積み増している。今使うべき予算と将来の貯蓄の考え方、今後の地方交付税の見通しを町長に確認。

#### 2. 近隣市町との協力強化を

公共交通（バス）やゴミ処理施設など、隣市町との連携が増えている。負担金の割合は適切にし、着実な成果を。環境への配慮や採算性も追求。

#### 3. 農業・子育て・福祉支援は当事者ニーズに合っているのか

農業活性化や福祉支援強化に向け、当事者の声をどう把握しているか確認。子どもの出生祝い金は、単に振込みではなく、地元の品を合わせれば、気持ちがこもるだけでなく、産業振興も図れるのでは。

#### 4. まちづくりの加速と人口増に向けた戦略的投資

駅前開発等、多額の税を投じるプロジェクトが目白押し。効率よい財政運営と人口増にどのように結び付け、町の活気に繋げるのか。予算額に含まれる詳細な具体策やスケジュールを<sup>ただ</sup>質し、町民への分かりやすい周知を促した。